



だい かい 第11回



し き じ に ほ ん ご が く し ゅ う 識字・日本語学習

け ん き ゅ う し ゅ う か い ぶ ん か か い 研究集会分科会

よみかきことば・つながるための学習を支援する

ねん がつ にち どようび ごご じ
2026年 2月28日 土曜日 午後1時から



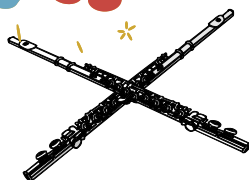
おおさかきょういくだいがくだいがくいんせい えんそう ★大阪教育大学大学院生による演奏 (午後1時から午後1時30分)



はん じにょん おおさかきょういくだいがくだいがくいん ねん ぱ い お り ん
韓 進 鏞 さん (大阪教育大学大学院3年 バイオリン)

よこいしゅうき おおさかきょういくだいがくだいがくいん ねん ぴ あ の
横石雄紀 さん (大阪教育大学大学院2年 ピアノ)

たぐち こう たろう おおさかきょういくだいがくだいがくいん ねん ふ る ー と
田口昂太郎 さん (大阪教育大学大学院1年 フルート)



ぶん か か い ごご じ ぶん ごご じ ぶん ★分科会 (午後1時40分から午後4時30分)

がくしゅうしゃ おも しきじ にほんごがくしゅう かんが
①学習者の思いから識字・日本語学習を考える

と く まな ひろ
②「しきじ・ぼうさい・じんけん」の取り組みから学びを広める

せいじんき そきょういく き ー わ ー ど しきじ にほんごがくしゅう あ かた かんが
③成人基礎教育をキーワードに識字・日本語学習の在り方を考える

たい しょう 対 象

しき じ にほんごきょうしつかんけいしゃ
識字・日本語教室関係者、

やかんちゅうがっこうかんけいしゃ がっこうきょうしよくいん
夜間中学校関係者、学校教職員、

ぎょうせいたんとうしゃ しみんだんたい
行政担当者、市民団体など

かい じょう 会 場

さかいしりつじんけん せん た
堺市立人権ふれあいセンター

さかいしきさいくきょうわちょう ちょう
堺市堺区協和町 2丁61-1

さん か ひ 参 加 費

むりょう
無 料

しゅさい しき じ にほんごがくしゅうけんきゅうしゅうかいじつこういんかい きょうさい しき じ にほんごれんらくかい しき じ にほんご せん たー
主 催：識 字 ・ 日 本 語 学 習 研 究 集 会 実 行 委 員 会 共 催：識 字 ・ 日 本 語 連 絡 会 / 識 字 ・ 日 本 語 セ ン ター
こうえん：おおさかふきょういくいんかい おおさかしきょういくいんかい さかいしきょういくいんかい よてい
後 援：大阪府教育委員会 / 大阪市教育局委員会 / 堺市教育委員会 (予定)

だい 第1 かい しき じ 1 回 識字・日本語学習 にほんご がくしゅう

けんきゅうしゅうかい ぶん か かい 研究集会分科会

ねん 2026年 がつ 2 月 28 日 にち とうび 土

おおさかきょういくだいがくだいがくいんせい

みにこんさーと

大阪教育大学大学院生によるミニコンサート

しき じ にほんごがくしゅうしゃ とき つ 識字・日本語学習者とともに 時を継ぐ

だいがくいんせい にん ほん き かな ねいろ 大学院生3人が本気で奏でる音色



たぐち こうたろう

田口 昂太郎

フルート



よこいし ゆうき

横石 雄紀

ピアノ・能管・テグム



はん じにょん

韓 進鏞

ヴァイオリン

きょくもく 曲目

ぱっへるべる : かのん
パッヘルベル : カノン
ありらん ほか
アリラン 他

ぶん か かい
分科会（1^じ時40^{ぷん}分から 4^じ時30^{ぷん}分）

だい ぶん か かい がく しゅう しゃ おも しき じ にほん ご かんが
第1分科会 学習者の思いから識字・日本語を考える

しきじ にほんごがくしゅう ば やかんちゅうがく がくしゅうしゃ おも ひびまな
識字・日本語学習の場や夜間中学で、学習者はどのような思いで日々学び
つづ づ づ まな ば たよう がくしゅうしゃ まな
続けているのでしょうか。学びの場では、多様な学習者がよみかきことばを学んで
います。そのような多様な学習者が同じ教室で、お互いに学び合うことの意味や
か だい かんが やかんちゅうがく しきじ にほんごきょうしつ けいけん だ あ
課題について考えるため、夜間中学や識字・日本語教室での経験を出し合い、
がくしゅう かた がくしゅうしゃ しゅじんこう じんけん ね
よみかきことばの学習のあり方、さらに学習者が主人公となる人権に根ざした
きょうしつ がっこう かんが
教室づくりや学校づくりについて考えていきます。

第2分科会 「しきじ・ぼうさい・じんけん」の取り組みから学びを広める

識字・日本語学習者は、災害発生にともない、不利益を被りやすい人びとです。
たとえば、災害被害が甚大になりやすい、情報から疎外されやすい、避難所に行っても不利益を強いられやすい、差別的うわさの被害にあいやすいなどです。識字・日本語研究会と識字・日本語センターは、これらの課題解決に取り組んできました。
この分科会では、それらの取り組みを紹介し、参加者のみなさんから意見や経験を
出していただき、交流を深めます。

だい ぶん か かい せいじん き そきょういく き わ ど しきじ にほん ご がくしゅう かんが
第3分科会 成人基礎 教育をキーワードに識字・日本語学 習を 考える

せいじん き そきょういく がっこうきょういく じゅうぶん ほしやう ひと かいがい
成人基礎教育とは、学校教育を十分に保障されなかった人たちや海外から
き ひと たい しゃかい い ひつよう きょういく てい
来た人たちに対して、よみかきをはじめ社会で生きていくために必要な教育を提
きよう
供することをめざすものです。しかし、日本では識字・日本語教室や夜間中学校
にほん しきじ にほん ごきょうしつ やかんちゅうがっこう
がありますが、基礎教育の機会を得たいという人すべてのニーズに答えるにはまだ
き そきょういく きかい え ひと にーず こた
まだ課題があります。日本そして大阪において成人基礎教育システムをどのように
かだい にほん おおさか せいじん き そきょういく し すてお
てんぼう かんが
展望していくのかについてともに考えます。

もう こ ほうほう

申し込み方法

なまえ れんらくさき さん か き ぼうぶんかかい きにゅう うえ ふ あ っ く す つぎ ゆーあーるえる
名前、連絡先、参加希望分科会をご記入の上、ファックスまたは次のURL
じげん こーど もう こ が っ にち にちようび もう
か2次元コードからお申し込みください。2月15日(日曜日)までにお申
こ
し込みください。

もう こ さき もう あ さき
[申し込み先・問い合わせ先]

しきじ にほんごれんらくかい おかだ こうじ
識字・日本語連絡会 岡田耕治

ふ あ っ く す
ファックス:050-3164-9483

めーる
メール:okada575@gmail.com

もう こ ゆーあーるえる
【申し込みURL】 <https://forms.gle/acjvoUofS191NcVS8>



じげん こーど
2次元コード



こうつう あ く せ す
[交通・アクセス]

さかいしりつ
堺市立

じんけん せんた
人権ふれあいセンター

〒590-0822

さかいききょうわちよう ちょう
堺区協和町2丁61-1

なんかいばす なんかいこうやせん さかいひがしえき「さかいひがしえきまえ」ばすてい ばん ばん ばん あさひがおか
南海バス○南海高野線 堺東駅「堺東駅前」バス停(9番・10番・11番のりば)「旭ヶ丘
きたまち げしゃ にし やく めーとる なんかいほんせんさかいえき「さかいえきまえ」ばすてい さかいえきまえたーみ
北町」下車。西へ約600メートル ○南海本線 堺駅「堺駅前」バス停(堺駅前ターミ
なる ひがしぐちろーたりー ばん ひがしまわ 「きょうわちよう」げしゃ ぼくせい やく めーとる
ナル 東口ロータリー)(3番のりば・左回り)「協和町」下車。北西へ約400メートル

はんかいせん「ごりようまえ」げしゃなんとう やく めーとる
阪堺線「御陵前」下車 南東へ約900メートル